



市の花…ツツジ

携帯サイト http://www.city.abiko.chiba.jp/mob/
編集・発行 我孫子市役所 総務部秘書広報課 広報室
〒270-1192 我孫子市我孫子1858番地
☎04-7185-1111 (代表) FAX04-7185-1520

市の鳥…オオバン



メール配信サービス

市からのお知らせをメールで配信しています(事前登録が必要)。
パソコンからは、市ホームページ内「メール配信サービス」をご覧ください。
携帯電話からは、右のQRコードを読み込むか、我孫子市携帯サイト
http://www.city.abiko.chiba.jp/mob/へアクセスしてください。



2月のギャラリー & 県民講座

図書館 1日(火)~28日(火)
湖北台分館
◆我孫子市めるへん文庫 第5集 表紙・挿絵
教育委員会文化・スポーツ課
布佐分館
◆折り紙「節分」
高垣多与子

アビスタストリート
開館時間:9時~21時 休館日:27日(月)
◆国際交流写真展
日時 1日(火)~14日(火)
(初日10時~、最終日15時まで)
問 渡辺 ☎090-6532-5024
◆わたしが変われば未来が変わる
日時 15日(火)~28日(火)
(初日13時~、最終日14時まで)
問 北嶋 ☎7184-4531

けやきプラザ
第1ギャラリー
◆第10回ちびっ子展
日時 ~5日(日)9時~19時
(最終日17時まで)
問 山口 ☎7182-4320
第2ギャラリー
◆我孫子登山倶楽部山岳写真展
日時 7日(火)~12日(日)10時~17時
(初日13時~、最終日15時まで)
問 水書 ☎7185-1977
◆陶器とちぎり絵の2人展
日時 28日(火)~3月5日(日)10時30分~17時
(最終日16時まで)
問 関谷 ☎090-4206-6242

アビシルベ 問 ☎7100-0014
開館時間:日~木曜日 9時~18時、金・土曜日 9時~19時
◆あびこのおみやげ買えるうな
日程 1日(火)~7日(火)
◆平成28年度手賀沼ポスターコンクール入選作品展示会
日時 8日(火)~14日(火)
(初日12時~、最終日16時まで)
◆アビストリーム「アビストdeNight☆」LIVE放送
日時 17日(金)18時~
◆ひなまつりの折り紙展示
日程 22日(火)~3月6日(日)

けやきプラザ県民講座・講習
◆エンディングノートのすすめ
日時 15日(火)13時30分~15時30分
場所 7階研修室
講師 長江曜子さん
(聖徳大学生涯学習研究所長・児童学科教授)
定員 50人(要申込)

けやきプラザ県民講座・講習 問・問 電話で住所、氏名、電話番号を明示。千葉県福祉ふれあいプラザ ☎7165-2886
受講料 無料 休館日 月曜日(月曜日が休日の場合は翌日火曜日)※専門職対象県民研修はホームページwww.furepla.jpをご覧ください。※けやきプラザ機械式駐車場は、定期点検のため13日(月)9時~17時まで利用できません。

スマートフォン・タブレットアプリ マチイロ

アプリ「マチイロ」で、「広報あびこ」「防災・地震ハザードマップ」「洪水・浸水ハザードマップ」を配信しています。広報発行日には通知が届きます。ダウンロードはQRコードをご利用ください。※通信料は利用者負担(アプリは無料)

問 秘書広報課広報室 ☎7185-1269



発掘お宝ミニ展示会 第3弾

楽 together!

古墳時代の甕を展示します。暮らしの中で培われた造形美をご覧ください。

日にち 2月3日(金)~28日(火)

場所 アビスタ2階オープンスペース展示ケース

問 教育委員会文化・スポーツ課 ☎7185-1583

市指定文化財

「中里薬師堂薬師三尊および十二神将像」御開帳

中里薬師堂には薬師三尊と十二神将が祭られており、特に薬師如来は眼病に靈驗あらたかな仏様として信仰を集めています。今回は午申酉(十二神将)を修復しました。ぜひお越しください。

日時 2月11日(祝)午前10時~午後3時

場所 中里薬師堂(中里238)※駐車場なし

問 松下 ☎090-2542-3400



冬の自然観察会



楽 谷津で鳥を観察しよう

日時 2月18日(土)午前9時30分~正午(荒天中止)※東我孫子駅南口広場集合、作業小屋前解散(中央学院高校そば)

講師 染谷迪夫さん(自然観察指導員)

定員 先着20人 費用 無料

持ち物 双眼鏡(お持ちの方)※動きやすく汚れても良い服装で

申・問 2月17日(金)までに谷津ミュージアムの会事務局(手賀沼課内)・内線465

バードウォッチング講演会

手賀沼の鳥~ここ25年で増えた鳥、減った鳥~

日時 2月22日(水)午後2時~4時(1時30分開場)

場所 我孫子北近隣センター並木本館多目的ホール

内容 鳥の博物館では、建設準備の段階から手賀沼水面の水鳥のセンサスを実施し、現在まで25年間継続調査をしています。この結果から、個体数が増えた鳥、減った鳥を取り上げ、その原因について、鳥の生態や環境の変化という観点から考えてみます。

講師 斉藤安行(鳥の博物館館長)

定員 先着100人(申込不要) 費用 無料

主催・問 我孫子野鳥を守る会・桑森 ☎7182-3149、鳥の博物館友の会・松田 ☎7182-8307



ふらり

あびこ 散策 62

湖北台分館

みなさん、こんにちは。湖北台団地のけやき並木は、去年もきれいでしたね。今回は、けやき並木といちょう並木の交差点から北へ進み、湖北台西小学校の前にある市民図書館湖北台分館に向かいます。

湖北台分館は昭和57(1982)年7月、分館第1号として湖北台浄水場2階に開設されました。昭和54(1979)年の市民図書館(現アビスタ本館)開設以来、図書館の利用者は増え、その前年から始まった移動図書館車も大好評。「もっと身近に図書館を」という声に応えるため、湖北台分館には児童書5000冊と一般書1万冊が並びました。

ところで、湖北台分館開設前はどのように本を借りたのでしょうか?当時、湖北地区には移動図書館車が来ていたほかに、それ以前の昭和47(1972)年、湖北台団地の住民の発案で、団地内の中央集会所に団地文庫が開設されました。寄贈本が中心で、子ども用の本から大人用の本まで約800冊が並び、開館すると毎回約60人もの方が利用しました。湖北台分館の開設により、残念ながら団地文庫は幕を閉じ、正泉寺入口と湖北台中央公園にあった移動図書館車のステーションも廃止になりました。けれども、分館ができて、より多くの方が棚から本を手にとって借りることができるようになり、読書の楽しみが広がりました。

現在、湖北台分館の蔵書数は約5万5000冊となり、移動図書館そよかぜ号も14カ所のステーションを訪れて、読書の楽しみを届けています。



▲湖北台分館とそよかぜ号